

環境学習コーディネート実施概要（Web掲載）

依頼No	19	事例No	16	依頼者	一宮市政策課	実施場所	一宮市役所大会議室
実施対象	一宮市職員（部署問わず自由参加）、市長及び市議会議員 約 80 名						
実施日時	平成 30 年 12 月 10 日（月）17 時 45 分～18 時 50 分（1 時間 5 分（講演後、発表会に参加））						
テーマ	再生可能エネルギーによる地域づくり						

●依頼内容

職員向けシンポジウムで、基調講演ができる講師の紹介

●講師：白井信雄氏（山陽学園大学地域マネジメント学部教授）

専門分野は、環境政策、持続可能な地域づくり、気候変動・エネルギー政策、地域環境ビジネス、環境イノベーション普及等。主な著書に『再生可能エネルギーによる地域づくり～自立・共生社会への転換の道行き』、『環境コミュニティ大作戦 資源とエネルギーを地域でまかなう』、『図解 スマートシティ・環境未来都市 早わかり』、『気候変動に適応する社会』、『サステナブル地域論—地域産業・社会のイノベーションをめざして』などがある。
こうした研究成果を活かした講演は、今回の趣旨に合致しており、講師を依頼する適任者である。

●授業の内容

座学	再生可能エネルギーに関する環境講座	「イチカレ」と名付けられた一宮市職員向けのシンポジウムで、再生可能エネルギーに関する基礎的な概念から再生可能エネルギーを取り巻く現状等が紹介された。さらに今回のテーマでもある「再生可能エネルギー」による地域づくりの先進事例や地域づくりが目指すものなどが紹介された。	70 分
	専門部会の研究報告	再生可能エネルギーの研究に関する専門部会の報告会では、2020年の電力事業の新たな動きに向けて、一宮市のエネルギーの現状報告を踏まえた新電力事業への参画のあり方について報告があった。この報告に対して、白井先生から講評をいただいた。	30 分

●授業の様子

- ・地域づくりが目指すもの及び新電力事業への期待の項目では、地域住民、地域事業者の関与を得ながら地域づくりを進めることの必要性が示され、「再生可能エネルギーによる地域づくり」のあり方に関して、今後の展開が重要であるとのことでした。
- ・専門部会からの研究報告に対して、先生から概ね方向性はよいこと、さらに取り組むべきこととして、住民参加の余地残しておくことや新電力事業としての地産地消と省エネルギーに配慮すること等のコメントをいただきました。
- ・講座は、専門部会の研究とも関連のある内容となっており、受講者にとっても興味深いものとなりました。

講座の様子① 再生可能エネルギーの事例紹介



講座の様子② 専門部会の報告に対する講評

